

10

M A Y・月

トロアスからマケドニヤへ - 人生のターニングポイント

使 16:6 ~ 10 パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニヤへ出かけることにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだ、と確信したからである。(10)

新 436 番 主イエスわれに命あたえ (旧 493 番 主イエスわれに命たまい)

- 聖句暗唱 _ イザ 40:31
- 聖書通読 _ 出 1 ~ 2 章

マケドニヤへ行くことは、神様だけがご存知であった計画と時刻表の中で起きたことです。パウロはこのような神様の大きい計画を発見することになる人生のターニングポイントの中にいました。サタンは私、私の内面、私の世界を通して人々の人生ターニングポイントを作ります。しかし、私たちは神様とともにいることを味わう祈りを 24 時味わって、神様が願われることに入る人生のターニングポイントを味わうことができます。このターニングポイントから出る方向と旅程は何でしょうか。

1. 神様が準備された出会いの奥義

神様がくださった契約と神様が動かれる時刻表の中にいるなら、神様が準備された出会いが成り立ちます。使徒 16 章のルデヤ、17 章のヤソン、19 章の弟子のように、伝道のために神様が別に準備された人々に会うようになるのです。

2. いやしと文化の奥義

神様の契約と時刻表の中にいれば、根本をいやす神様の働きが始まります。神様の力で根本がいやされて、地域がいやされる働きが起きるのです。そして、会堂運動、RUTC 運動、RU 運動、経済運動を通して文化を生かす答えも起きるようになります。

神様がくださる人生のターニングポイントに入るのが重要です。祈りを通して、神様のみことば、キリストの奥義、聖霊の働きを味わうことによって、神様の働きは始まります。この祝福が現場につながるとき、サタンが足の前にひざまずき、24 時神様が願われることを味わう裏面契約を味わって、永遠の神様の祝福に入るようになります。

契約の祈り

神様、神様が準備された人生のターニングポイントの中に入りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

私、 私の内面、 私の世界

サタンは私、私の内面、私の世界という部分で人々にターニングポイントを作ります。

しかし、結局、彼らはわざわいに会って、滅亡にあうことになります。

しかしキリストの中にすべての答えがあります。神様を離れて罪とのろいの中にいた私は死にました。

私の中には、いまはキリストが生きておられます。これを信じる信仰の中で生きていきます。

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によって生きているのです。ガラ 2:20

マケドニヤからローマへ - 時代を生かす人生終着駅

使 19:21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

新 501 番 シオンよ、急ぎ伝えよ (旧 255 番 シオンよ 急ぎ伝えよ)

- 聖句暗唱 _ イザ 40:31
 聖書通読 _ 出 3 ~ 4 章

ネフィリムが時代を掌握して、霊的問題と精神病に満ちた時代がきました。神様は何もできなかったパウロを通して時代を生かす福音化を成し遂げられました。私たちはこれを見て、人生終着駅を決定しなければなりません。神様がくださった CVDIP を通してコンセプトを備え、御座の力を味わう 25 の祝福に入ります。このときから、私たちに与えられる人生終着駅の内容は何でしょうか。

1. 7 時代のわざわいを止めた証拠

神様は 7 時代の Remnant と重職者を通して、時代に臨んだわざわいを止められました。私たちには、福音を伝えてわざわいを止める幕屋、会見の天幕、天幕運動が神殿運動となり、教会運動がその証拠です。この内容をあらかじめ備えたコンセプトと、実際に味わう内容がまさに私たちのことです。

2. 今日と今後探していく終着駅

マケドニヤを超え、ローマとローマの法廷が福音をあかす終着駅です。ローマに向かって一緒に航海している神様が備えられた多くのいのちも、福音があかしされるべき終着駅です。これからは、誰も解決できない問題の現場、Nothing の現場に向かって挑戦して、その現場を生かす祝福の中に入らなければなりません。

これからはすべてを CVDIP で見て、Nothing を Everything に変えて、すべてを生かす答えの中に入らなければなりません。天と地のいっさいの権威を持ってともにいると約束された神様は、今も私たちとともにおられます。

契約の祈り

神様、神様が願われる正確な契約を握りますように。神様のみわざが成し遂げられる時刻表に入りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

Q.

御座の祝福

御座とつながったヨセフを通して
奴隷、監獄、総理の座が生かされました。

御座とつながったモーセを通して
羊の血、福音の奥義があかしされました。

御座とつながったサムエルを通して
契約の箱の祝福が伝えられて、

御座とつながったダビデを通して
わざわいを止めて、神殿を準備する祝福が現れました。

御座とエリヤ、エリシャを通して
時代のわざわいを止めて、次世代を立てる答えが現れて、

御座とつながったイザヤを通して
御座の力と、次世代に伝わる福音のみことばが
現れました。

御座とつながったパウロを通して
キリスト、神の国、聖霊の満たしの奥義が
現場に伝えられ、成就されました。

神様は私がいるところに
御座とつながった私を通して
御座の力で働かれ、
神の国が臨みます。

12

M A Y・水

出エジプトの文化コンテンツ

出3:18～20 彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。(18)

新545番 この目に何も見えずとも (旧344番 この目は何も見えずとも)

- 聖句暗唱_イザ40:31
- 聖書通読_出5～7章

Q.

教会または学業、
産業現場で
「私だけが
作ることができる
福音文化」とは？

講壇のみことばを
深く黙想するなら発見できます。
これは、神様が
私にだけ与えられた
「絶対文化」です。

この文化でなければなりません。

いくら立派な人であっても、福音を知らないならサタンの奴隷です。より大きな問題は、サタンに掌握された文化はますます広がるのに、福音文化はないということです。結局、エジプトの奴隷になって偶像造ったイスラエルの民のように奴隷生活をするしかありません。どのようにすれば、福音文化である出エジプトの文化コンテンツを作ることができるのでしょうか。

1. 福音文化を持った少数の奥義

時代ごとに福音を持った少数が文化を変えました。彼らは霊の流れを変えて、現場に最も必要なことである、人を生かして危機を解決する文化を作りました。これは戦わずに勝つ霊的戦い、神様にだけできる再創造、Nobody 善悪がEverybody 善えになる文化です。絶対不可能な私たちが絶対可能な神様の力でできるので、絶対文化になるのです。

2. 実際的なコンテンツ

福音文化コンテンツは、犠牲のいけにえ 出3:18、血の契約のみことばです。その中で注目すべきなのは三つの祭り、幕屋、契約の箱文化です。モーセがコンテンツをよくまとめたとするならば、ヨシュアは「コンセプト」ヨシ1:1～9を持って福音文化を拡散 インターンシップさせました。さらに出エジプト記、レビ記、申命記を通して「枠」 世界観を作り、完全に「教育24」をして集中しました。

福音文化コンテンツを作るためには、まず、福音を味わって、実際に祈る霊的サミットの時間が必要です。この時間があるからこそ、まことの出エジプトへ導く福音作品が出ます。

契約の祈り

神様は、神様がくださった力をもって人と世界を生かす福音文化になるコンテンツを再創造しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

13

M A Y・木

神様が最も貴重に思われること

使19:21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニアとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

新505番 世界中に宣べ伝えよ (旧268番 世界中に宣べ伝えよ)

- 聖句暗唱_伝12:1
- 聖書通読_出8～10章

Q.

RU Remnant University

世界中のすべての民族が集まるアメリカ。アメリカは、経済、文化、政治、軍事などのすべての分野で最高を走る強大国ですが、その分、事件事故の規模が大きく、頻繁であるので、至急に福音が必要な現場です。

神様がそこにRUを立てられたのは、単に一つの国を宣教地に指定された水準ではありません。霊的前方基地として、暗やみ文化を縛って、答えを知らないために苦しむ多くの人種を生かすためです。

私たちは、RUを立てられた理由を正確に理解し、あらかじめ祈りを始めなければなりません。

「神様、RUを通して現地の指導者が生かされて、動機なく、ただ福音だけを伝える使命者が選別されますように。多民族Remnantと現場中心の働き人が起きますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

私たちの周りには、正しい教会と働きをしている教会者も多いですが、よく見ると、神学の勉強もはっきりしていない教会者や指導者もいます。福音を全く聞いたことのない世界237か国の空いた所、傷ついたTCK Third Culture Kidsの状態はより深刻です。このとき、神様が最も貴重に思われるRUを私たちに与えられました。その理由は何でしょうか。

1. RUを立てられた理由

神様は理由を正確に知っている人に答えられました。同じく、RUについての正しい理解が必要です。まず、RU本部をアメリカに立てられた理由です。アメリカは世界の様々な人が集まる現場であるからです。第二に、教会ではなく、RUを立てられた理由です。ひとつの教会のスケジュール規模だけでは多民族を生かすことができないからです。最後に、RU運動を私たちに任せられた理由があります。神様は正しい献身と献金を通して、問題を隠して包んで生きている多民族に、ただキリストという答えを与えられるためです。

2. RUの旅と目標

RUの旅はパウロの旅のとおりです。神様はパウロの旅にすべての物質を注がれて、人を付けられました。使23:11、27:24 この契約を持っている私たちは、RUのために祈らなければなりません。神様はRUを通して全世界の教会者がただキリストを身に付けて、全世界のレムナントと空いた所を生かすように働かれるでしょう。

私たちは、「あらかじめ」RUを確定しなければなりません。世界237か国の空いた所を見て、現地の指導者を生かし、動機のない使命者 学生を選別して、多民族Remnantと現場中心の働き人たちが起きるように祈ればよいです。

契約の祈り

神様、神様の大きな愛と聖霊の働きがRUのすべての伝道者とともにおられることを信じます。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

14

M A Y・金

ローマに行く道

使 27:24～25 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

新 429 番 世の風、荒波 (旧 489 番 のぞみも消えゆくまでに)

- 聖句暗唱_伝 12:1
- 聖書通読_出 11~12 章

Q.

「神様が私に
与えられたミッション」
どのように
見つけることが
できますか。

すべてを知っておられる神様であるために、私に展開する状況の中で理由なしに起こったことはありません。

家庭背景、性格、気質、才能はもちろん、隠したい弱点と傷にも理由があります。

その中に、神様は私が行うべきミッションを隠しておかれました。

人生の暴風にあうときがあります。しかし、神様の計画を知る人は、落胆したり恐れたりしません。神様の時刻表を見た人は、現実だけを見てだまされません。神様の使命を持っている人は、謙虚で大胆です。そのようなパウロが知っていた理由があります。何でしょうか。

1. ローマに行かなければならない理由を知っていたパウロ

パウロは強大国に行かなければならない理由を知っていました。世界の政治と経済、文化を主導する強大国に福音が宣べ伝えられると、全世界に福音の影響を与えることができると知っていたのです。ローマに行く船が転覆しそうなほどの強風にあいましたが、パウロが「理由を知って安心しなさい。私は神様を信じます」と、信仰の告白をすることができた理由でもありました。

2. 神様の理由を知っている人

福音を聞かなければならない空いた所はあちこちに散らばっており、霊的に病んでいる人もあまりにも多いです。神様は暴風にあつたこの時代に、ただ福音だけを伝える使命と理由を知っている人を探しておられます。

毎日、神様の前で質問する時間を持つ Remnant は、神様が願われる時と理由を知って、神様が願われることをするようになるでしょう。

契約の祈り

神様、ローマに行く道に私を立ててくださった神様に感謝します。理由を持って福音を伝える人になりますように。神様の時刻表の中にいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

15

M A Y・土

世界を変化させる神様の方法

民 8:1～4 燭台の作り方は次のとおりであった。それは金の打ち物で、その台座から花卉に至るまで打ち物であった。主がモーセに示された型のとおり、この燭台は作られていた。(4)

新 191 番 日ごとよるこび (旧 427 番 日ごとよるこび)

- 聖句暗唱_伝 12:1
- 聖書通読_出 13~14 章

Q.

神様が最も貴重に
思われることは？

ペテロの手紙第一の 2 章 9 節を黙想しながらその答えを見つけてみましょう。

一万の問題が広がっていても、その根は神様を離れたことにあります。

光であるイエス・キリストだけが神様と人間の間をつなげることができます。

私たちは、私たちをやみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、宣べ伝える存在であることを覚えなければなりません。

神様は暗やみ、混沌、空虚の中に光をくださいました。イスラエルの民が捕虜と属国になったとき、起きて光を放ちなさいと言われました。イエス・キリストは世の光として来られました。この光を信じる私たちは、光を現す王である祭司として呼ばれました。また、世界を変化させる神様の方法がこの光の中にあります。はたして何でしょうか。

1. ともしびを消してはならない

私たちが考えることと、心に入っていることはすべて脳に刻印されます。脳に刻印されたことは、たましいを支配します。神様に集中して三位一体の神様を味わうとき、私たちのたましいに光が照らされます。神様がくださる祈りの課題ができて、生活の中でみことばが成就するので自然に証人として生きようようになります。したがって、私たちは、祈りというともしびが消えないように、キリストの光を味わう祈りを続けなければなりません。

2. 時代を生かす光を放ちなさい

福音を聞いていやされるべき病んでいる人があまりにも多い時代です。一度も福音を聞いたことのない人にイエス・キリストの光を放つ Remnant は教会の役割をしなければなりません。神様はこの役割をする神の子どもを通して世界を変化されます。

光を持った Remnant には、どんな苦難の中でも独り立ちできる力を与えてくださるでしょう。絶対できそうもない現場から人を生かす座へと導いてくださるでしょう。福音のない世界と次世代を生かすミッションを見つけなければなりません。

契約の祈り

神様、福音を知らないためにさまよって苦しんでいる人を生かすともしびをくださったことを感謝します。光の子どもとして呼ばれたので、この光をすべての国と次世代に伝えますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン